

## 令和 6 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

佐賀県

行 事 名 称	第 71 回文化財防火デー
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 19 日(日) 9:15~10:15
実 施 場 所	【国指定文化財】旧田代家西洋館
主 催 者	有田町、有田町教育委員会

## ■実施内容

## 訓練の想定

国の重要文化財である旧田代家西洋館より出火。西洋館勤務者が発見し、初期消火を実施。初期消火が失敗し、付近の住宅及び伝統的建造物群である有田の町並みへの延焼の恐れがあると想定、119 番通報した。消防車及び消防団による放水を想定した。

## 訓練の内容

- 1: 発炎筒の煙を火災と想定し、勤務者が火災を発見、初期消火後 119 番通報訓練。同時に観覧中の一般客の避難誘導。通報を受けた消防署と 3 区の消防団出動により放水訓練・水幕訓練を実施した。
- 2: 消防署員による消火器の地元住民ならびに一般参加者対象の、消火器の使用方法の実技訓練を行う。
- 3: 消防署員による各家庭における消防設備等の説明、質疑応答を行う。
- 4: 町文化財課職員による旧田代家西洋館の解説・自由見学を行う。

## 参加者及び役割分担

有田町教育委員会：広報ならびに参加者への連絡、訓練の進行、文化財の説明（5 名）

れきみん応援団：初期消火、119 番通報、避難誘導（8 名）

伊万里・有田消防組合：消火活動及び参加者への防火指導（11 名）

有田町消防団：消火活動（有田町消防団第 1 分団第 3 部、第 4 部：20 名）

地区住民：防火訓練の参加、文化財の見学（約 25 名）

計 約 69 名

## 特に工夫した点

有田町内の西地区と東地区を、毎年交互に場所を選択して訓練を実施。また、消火訓練後には、参加者を対象とした当該文化財の説明会を行うことで文化財への理解も深めている。

今回の実施会場は平成 30 年 12 月 25 日付けで国の重要文化財に指定されたこともあり、その PR も兼ねている。

消防としても今年度から導入した水幕防御システムのお披露目と木造建築の密集地での訓練となった。

## 問題点・課題

消火訓練については、町内には事前に回覧等で通知、呼びかけをしており、前日及び当日に、防災無線を活用しているが、参加者が少ないため、より多くの参加者を増やすため、さらに工夫が必要である。

## その他

文化財防火デーに合わせて、毎年地区を変更して消火訓練を実施し、より多くの文化財所有者、また地元住民の関心と防災意識を高めていきたい。

訓練風景



初期消火・通報訓練



避難訓練



緊急車両到着



緊急車両 放水準備



放水開始



水幕防御システム準備 1



水幕防御システム準備 2



水幕防御システム訓練開始



放水訓練及び水幕訓練



消火器取り扱い訓練



消火器取り扱い訓練